

すてっぷ糸屋 耐震工事

引っ越しを終えると仲間みなさんはすぐに自分のお気に入りの場所を確保して、さっそくお仕事に取りかかっていました。本当にたくましく、頼もしい限りですが、やっぱりどこかホッとした表情もみせていました。耐震の壁が入り個室のようになった机は人気ようで、これから毎日争奪戦が繰り広げられそうです(笑)



3枚の写真は(左、上、右)仮移転先でのお仕事の様子です。どんな場所でもみなさん真剣に頑張っています。



完了いたしました☆



耐震工事が終わりました。

ここ数年、大きな自然災害が発生し尊い命や、暮らしの場、働く場を失った方が多くおられ、今も不自由な暮らしを強いられておられます。

「ここは大丈夫だろう」ということは絶対になく、私たちも災害に対する危機意識を高めることが課題です。上京ワークハウス分室のすてつぷ糸屋は京町屋で、歴史もある立派な趣のある建物ですが、地震があったときは・・・



いざという時のことを考えると、とても不安な状況でした。耐震診断の結果、地震があれば倒壊の恐れがあり大がかりな耐震補強工事が必要と診断されました。そこで、国、京都市からの補助金を活用して、半年近くを掛けて工事を進めて参りましたが、この春完成の運びとなりました。



屋根を軽量の物に変更、免震ダンパーを数カ所設置、耐震壁、筋交いなどを数多く設けました。障害のある仲間が働く場として安心な建物となり、ホッと胸をなでおろしているところです。設計をしてくださった松本一級建築事務所様、工事を施工してくださった(株)中蔵様には大変お世話になりました。本当に所の皆様には工事期間中、多大なご迷惑をお掛けいたしました。



また、仮移転先だった上京ワークハウス近隣住民の方にも色々なご迷惑をおかけしましたことを、この場を借りまして御礼とお詫びを申し上げます。仲間のみなさんも、仮移転先での不安な状況の中でも普段と変わらず元気いっぱいに通所してくれていました。不便なこともたくさんあったと思いますが、ご理解とご協力、ありがとうございます。新しくなったすてつぷ糸屋での生活が楽しみですね。



この壁になっている部分に「免震ダンパー」が入って。地震の揺れを吸収し、建物の崩壊を防ぎます。

